

㉔【水戸済生会総合病院】

住 所	〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3-3-10		病床数：472床
診療科目	内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科		
研修責任者名	千葉 義郎(臨床研修センター長兼循環器内科部長)	連絡先：resident@mito-saisei.jp 029-254-5151 (代表)	連絡先担当者名：平根、廣木 (臨床研修センター)
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：2人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：2人、27年度：2人、28年度：0人、29年度：2人、30年度：2人、令和元年度：2人、2年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：17人、24年度：19人、25年度：19人、26年度：10人、27年度：12人、28年度：11人、29年度：9人、30年度：12人、令和元年度：19人、2年度：20人		
	研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数
	必修：内科(循環器、消化器、腎臓、緩和ケア)、救急科、外科(消化器、心臓血管、呼吸器)、小児科、産婦人科 選択研修：整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、麻酔科	内科(循環器)4人、内科(消化器)7人、内科(血液)1人、内科(腎臓)1人、救急科4人、外科(外科)9人、外科(消化器)3人、外科(心臓血管外科)2人、整形外科3人、脳神経外科2人、眼科2人、皮膚科1人、小児科3人、産婦人科6人、麻酔科5人、形成外科1人、泌尿器科1人	内科(消化器)1人、内科(血液)1人、内科(腎臓)1人、救急科1人、外科(外科)4人、外科(消化器)1人、外科(胸部外科)2人、麻酔科2人、泌尿器科2人
施設の概説・特徴			
救命救急センターを有する急性期型の総合病院である。茨城県のドクターヘリの基地病院の一つであり、かつ水戸市のドクターカーも運用している。救急科をローテーション中に、これらに同乗する機会もあるためプレホスピタルケアが学べる。総合周産期母子医療センターは茨城県の県央東北地域の周産期救急を担っており、隣接する県立こども病院との連携が密である。その他、緩和ケア病棟を持ち、終末期医療にも積極的に取り組んでいる。研修医のみならず、救急救命士、看護師、薬剤師など様々な職種の新研修生、実習生を受け入れている。これらの特徴とした水戸地域の基幹病院であり、多種多様な疾患が経験できる。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科では救命救急センターとの連携を密にしており、多種多様な症例が経験できる。循環器内科ではカテーテルインターベンションのみならず、不整脈に対するカテーテルアブレーションやICD植込みなど幅広い診療を行っている。また心臓血管外科との連携も密で、研修医が手術に参加することも可能である。消化器内科では消化器センターとして外科と連携しながら最新技術を取り入れながら診療に当たっている。腎臓内科は新規の血液透析導入を年間約100件程度行っており、地域最多である。また腎生検数も多く、多くの症例を経験できる。 救急科では茨城県のドクターヘリの基地病院の一つであり、かつ水戸市のドクターカーも運用している。救急科をローテーション中にこれらに同乗する機会もあるためプレホスピタルケアが学べる。 外科◆：消化器外科、年間手術症例は約550件。消化器外科全般にわたる診療を行っている。NSTチームが機能している。胸部外科の年間手術症例数は約420件。開心術を中心に診療を行っている。整形外科は、年間手術件数約1,100件。関節疾患、脊椎背髄疾患の症例が多い。脳神経外科は脳血管障害、脳腫瘍など脳・神経疾患のほぼ全域を対象に24時間体制で臨んでいる。 小児科：日常臨床で遭遇することの多い疾患の初期治療を修得し、一般小児科医あるいは家庭医として小児診療ができることを目標としている。 麻酔科：年間4,500件以上の麻酔科担当症例があり、心臓手術の麻酔を含むあらゆる種類の麻酔を行っている。 眼科：白内障手術が主体だが、緑内障・網膜剥離手術など手術の種類は豊富である。 皮膚科：皮膚に現れるすべての発疹に対応する。湿疹、蕁麻疹、中毒疹、細小・ウイルス性疾患、良性・悪性腫瘍など。アザに対するレーザー治療も行う。 産婦人科：総合周産期母子医療センターがあり、ハイリスク分娩など豊富な症例を経験できる。 形成外科：先天異常、外傷、皮膚腫瘍などを中心に幅広く形成外科分野の手術を行っている。 泌尿器科：泌尿器科におけるプライマリケアの取得を目標とする。血尿、尿路結石の診断や治療、スタイレットを用いたFoleyの挿入、膀胱鏡、エコー検査の取得など。状況にて経尿道的手術手技、開腹手術の会得。			
研修の概説と特徴			
水戸済生会総合病院での研修プログラムでは、内科と救急科を必修として履修し、選択科目は研修医の希望に可能な限り柔軟に対応している。地域の基幹病院として内科系、外科系とも豊富な症例を有している。			
研修医の当直			
当直体制は、主に救急車対応の救急科1人、walk-in対応の一般診療科1人、ICU担当1人、産科1人、初期研修医1人または2人の計6～7人体制。研修医は上級と伴に救急患者の初期対応にあたる。			
処 遇			
●給与：1年次(月額基本給)350,000円(諸手当)賞与600,000円、2年次(月額基本給)460,000円(諸手当)賞与1,020,000円 ●食事：朝食、昼食、夕食とも医局で可。 ●宿舎：研修医宿舎あり。3万円の補助あり。 ●居室：研修医専用居室あり。 ●図書・文献：図書室あり。主要和洋雑誌。 ●インターネット環境：各自の机から接続可。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。

◆令和4年度当院での外科(必修)担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。